

ひびきあい「日野のたから」を未来につなぐ 自治の力で輝くまち

第5次日野町総合計画基本構想(原案)に対する パブリック・コメントの実施結果

◇意見募集期間

平成22年10月1日(金)から11月1日(月)まで

◇公表資料の閲覧

企画振興課(役場3階)、町政情報コーナー(役場1階)、各地区公民館に備え付け縦覧。

町内全地区にて各組回覧を実施。町ホームページに掲載。

◇提案方法

書面提出(提案はがき、FAX、電子メールにより住所・氏名・電話番号を記載のうえ提出。)

◇意見の提出(意見提出者数)

37件(29人)

◇意見の反映状況

意見に対する反映状況	計画の内容に対する意見等に関するもの	計画の文章表現等に関するもの	合計件数
(1) 原案を修正するもの	2件	15件	17件
(2) 原案を修正しないもの	18件	2件	20件
内、すでに原案に記載済みのもの	2件	2件	4件
内、具体的な事業等に関する内容であり、基本構想に基づく基本計画等に位置づけるもの	16件	0件	16件
合計	20件	17件	37件

第5次日野町総合計画の策定は大詰めを迎え、基本構想(案)を12月議会上程し、審議いただきました。
今回は、この基本構想(案)の作成にあたり、10月1日から11月1日にかけて実施しました基本構想(原案)に対するパブリック・コメントの結果についてお知らせします。

日野町総合計画懇話会が終了

町では、平成23年度からの10年間にめざすまちづくりへの提言をいただくため、平成21年10月に日野町総合計画懇話会(公募を含む24名の住民等により構成)を設置しました。

懇話会では、住民アンケートや各地区・各種団体のまちづくり懇談会などでの多くの皆様のご意見や想いをもとに、42回にもおよび議論を積み重ねてこられました。

平成22年6月に、「第5次日野町総合計画の策定に関する中間提言書」を町長へ提出され、7月には、「未来フォーラムひの」を開催、8月には、「第5次日野町総合計画の策定に関する提言書」を町長へ提出されました。

懇話会委員皆さんの活発な議論と熱い想いの込められた提言書をもとに、町では第5次日野町総合計画基本構想(案)を策定しました。

最後の懇話会(12月10日)では、委員の皆さんから、感想と今後の抱負などのお話をいただきました。すべてをご紹介できず残念ですが、一部を掲載します。

○懇話会では、さまざまな立場・年齢層の皆さんと、さまざまな意見交換をしながら多くのことが勉強できました。こうした中で、まちづくりへの議論に参加できたことは、大変貴重な経験となりました。

○地域をつくっていくためには、時間をかけて話し



第5次日野町総合計画

基本構想(原案)に対するパブリック・コメントの実施結果

パブリック・コメントで寄せられた意見の一部とその対応状況

基本構想(原案)	寄せられた意見等	対応状況
<p>「高齢者や認知症の人が住み慣れた地域で安心して、健康でいきいきと暮らすことができるよう、介護予防や介護サービスを充実します。」</p>	<p>介護している者の人権や、介護している者も活き活きと暮らせることも記述に入れるべきではないか。</p>	<p>「高齢者や認知症の人が住み慣れた地域で安心して、健康でいきいきと暮らすことができるよう、介護予防や介護サービスを充実するとともに、地域でのあたたかい見守りができるよう介護への理解を深めます。」と修正しました。</p>
<p>「一人ひとりの参加から自ら学ぶ取り組みをはじめ、みんなでまちづくりを考え、行動する地域力自治力に満ちたまちを目指します。」</p>	<p>コミュニティの思想や良さが暮らしの課題の解決に役立つ、そのことが過度の社会資本投資をしなくてもすむということを入れてはどうか。(※ソーシャルキャピタル) ※人々が持つ信頼関係や人間関係(社会的ネットワーク)のこと</p>	<p>「一人ひとりの参加と学びをもとに、みんなでまちづくりを考えるとともに、きずなをばぐくみ、自ら行動する地域力自治力に満ちたまちをめざします。」に修正しました。 その他、関連する箇所についても修正しました。</p>
<p>全体を通して</p>	<p>日野町人の気配り、質素儉約や新しい発想の項目がほしい。</p>	<p>第4次総合計画までの開発型の発想ではなく、『学び』を通して、現在町にある「だから」を発見し、活かしていくという智慧と工夫を柱としたまちづくりの新しい発想で構成されています。</p>

なお、第5次日野町総合計画基本構想(原案)に関するパブリック・コメントの実施結果につきましては、企画振興課(役場3階)、町政情報コーナー(役場1階)で閲覧いただくか、日野町ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

◆問い合わせ先

企画振興課 企画人権担当(役場3階) ☎06552 有線089963

込まないといけないということを、身をもって感じました。

○10年間のまちづくりなので、多くの計画や事業があり、また資金面等での制約もありますが、実現可能なものから優先順位をつけ、ひとつでも多く実現してほしいです。

○私の母国(米国)は民主主義の国といわれていますが、これだけ会議をしてきた日野町は、米国以上に民主主義が進んでいるのではないかと思います。

○懇話会では、公民館に関する議論が最後まで尽きませんでしたが、それだけに、公民館に対する期待が大きく、公民館のあり方をさらに検討していく必要があると感じました。

○基本構想ができたなら終わりではなく、本番は、この構想に基づいてまちづくりを進めていくことです。今後を見守って行きたいし、できることは、自分たちも積極的に関わって行きたいです。懇話会は解散となりますが、今日をこれから10年間のまちづくり応援隊の結団式としたいとも思います。



懇話会の皆さんには、お忙しい中、1年を超える長期にわたり、何度も熱い議論を積み重ね、これからの10年間のまちづくりへの道筋を示していただき、大変ありがとうございました。

大変ありがとうございました。